

ワイドレンジフラッシャーリレー (3極・作動音有タイプ)

取扱説明書

製品番号	05-08-0433
適応	<ul style="list-style-type: none"> ・ DC (直流) 12V 専用 ※バッテリーレス車の前後交互点灯のリレーや、ポジションランプ機能付きのリレーとの互換性はありません。 ※ AC (交流) 電源では使用出来ません。 ※ シグナス X 台湾仕様車 (2UB1) の場合、車両の仕様によりヘッドライトスイッチを OFF にすると正常に点滅しません。

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
 使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
 万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
 取り付けに経験の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

～特徴～

- 本製品は広範囲のワット数に対応したワイドレンジ仕様となっています。
 低いワット数 (2W から) から高いワット数 (80W まで) のバルブを適正速度 (85 回 / 分) で点滅させる事が出来ます。
 [前後 : LED] や [前後 : 白熱電球] はもちろん、[前 : 電球、後 : LED] など、異なるワット数の組み合わせにも対応可能です。
- ウインカーの点滅に合わせて、カチカチという明確な作動音が出るタイプです。

～構造上の注意点～

- ※弊社製スーパーマルチ DN メーターに本製品と LED バルブを組合わせた場合、点滅中は常に電圧を認識し、メーター内のターンインジケータは点灯したままとなります。予めご了承下さい。
- ※ AC (交流) 電源では使用出来ません。
 前後交互点灯のリレーや、ポジションランプ機能付きのリレーとの互換性はありません。
 また、付属のアースコードをフレームアースに接続する必要があります。
- ※汎用品ですので、取り付けには配線加工が必要となったり、また車両側ウインカー回路の構造によっては適さない場合があります。
- ※シグナス X 台湾仕様車 (2UB1) の場合、車両の仕様によりヘッドライトスイッチを OFF にすると正常に点滅しません。
 ヘッドライトを点灯してお使い頂くか、弊社商品 : 05-08-0083 と、38302-LXD-T00 : リレーコードを組み合わせしてお使い下さい。
- ※一般的な純正リレーと異なり、広いワット範囲で点滅する事が可能なので、LED バルブ破損などにより不点灯が発生しても点滅回数は変動しません。ご注意ください。

株式会社 スペシャルパーツ 武川 〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
 TEL: 0721-25-1357 FAX: 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

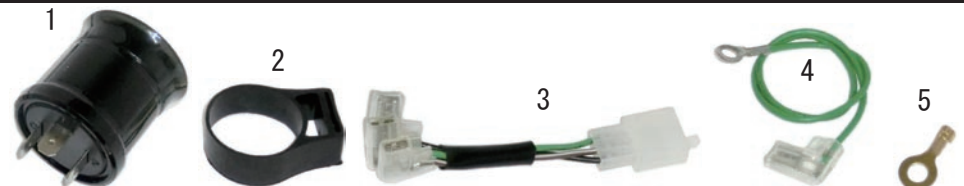
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わないで下さい。
 (技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
 (作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。
 (そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
 (事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。
 (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- 酸化したガソリンの滞留は危険性が有る為、通気の良い場所で作業を行ってください。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。
 但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
 なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

製品内容

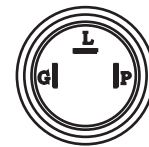


番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ワイドレンジフラッシャーリレー (3極タイプ)	1	
2	マウントラバー	1	
3	3P コネクタハーネス	1	
4	アースコード	1	
5	6mm 丸アース端子	1	00-00-0694 (5ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
 予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～配線の接続について～

- 本製品は汎用品となっておりますので、車両に取付される場合は、車両配線に合わせた接続が必要となります。
- 付属の 3P コネクタハーネスを用いるなどして、リレー本体の各端子を、下記の様に接続して下さい。
- P 端子 : DC12V (キー ON 電源)
 L 端子 : ウインカースイッチへの端子
 G 端子 : アース端子

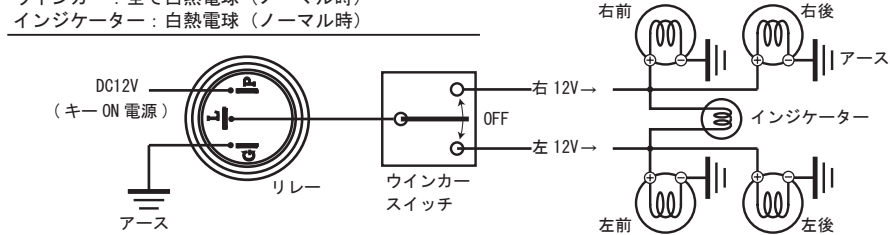


特徴と構造上の注意点

～左右共有型ターンインジケータの点灯回路について～

- ※左右のウインカーのプラス配線間に橋を架けるように接続されているターンインジケータは白熱電球の特性を生かした点灯回路であり、基本的にLEDバルブではこの構造使う事は出来ません。
- ・左右のウインカー用を1つで共有しているターンインジケータに多い構造です。
- ・インジケータの設置には配線の改造(次ページに記載)が必要となります。

ウインカー：全て白熱電球(ノーマル時)
インジケータ：白熱電球(ノーマル時)

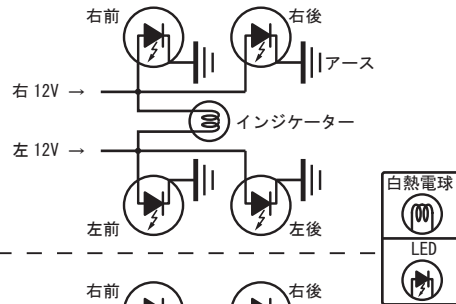


- ・スイッチを左にするとインジケータの左側コードに12Vの電圧が印加されます。
- ・印加されたプラス電圧は右ウインカーのバルブを通りアースへとつながり、インジケータバルブも点滅します。
- ・インジケータバルブのワット数は低く(抵抗値が高い)、電流量をとっても少なく制御するので、右ウインカーバルブは点灯しません(フィラメントに電流が流れるが、電流量が少ない為に光らない)。

～左右共有型ターンインジケータの不具合例～

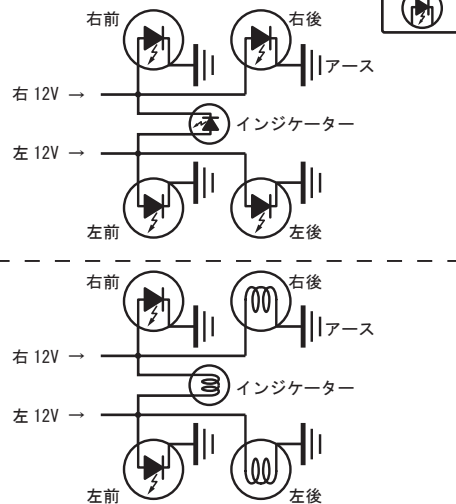
ウインカー：全てLEDバルブ
インジケータ：白熱電球

- ・全てのウインカーが同時に点滅(ハザード状態)してしまいます。
- ・左ウインカーへの電圧印加と共に、インジケータを経由して右ウインカーにも電圧が印加される為です。
- ・右ウインカーのLEDバルブが電流量をとっても少なく制御するので、インジケータはわずかな輝度で点灯します(もしくは点灯しない)。



ウインカー：全てLEDバルブ
インジケータ：LEDバルブ

- ・このインジケータ回路はウインカーを出す方向によって、プラスマイナスの極性が反対になる為、LEDバルブを使う事は出来ません。
- ・仮に右図のようにインジケータのLEDバルブを左用に接続して、スイッチを左にしたと左ウインカーの点滅と同時に右ウインカーとインジケータが暗い輝度で点滅してしまいます。
- ・このままの配線でスイッチを右にした時は、右ウインカーは点滅しますが、左ウインカーおよびインジケータは点灯しません。



ウインカー：LEDバルブと白熱電球が混在(左右同一)
インジケータ：白熱電球

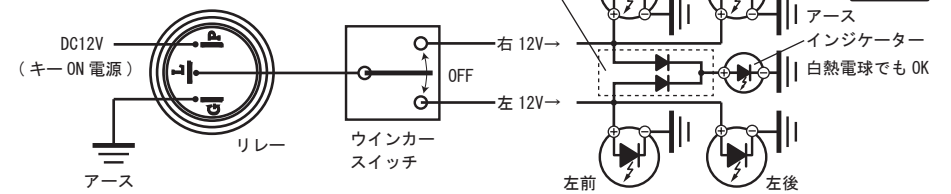
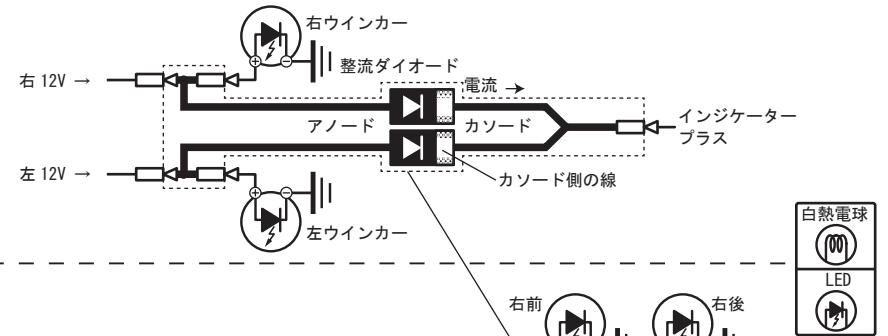
- ・ウインカー、インジケータ共に正常に機能しているように見えます。
- ・正確にはインジケータがノーマル時よりも少し暗く点灯していますが、実用可能です。

特徴と構造上の注意点

～左右共有型ターンインジケータの作り方～

※ある程度の電子工作技術が必要です。

- ・下図を参考に左右ウインカーのプラス配線から線を分岐させ、それぞれに整流ダイオードのアノード側を取り付けて下さい。
- ・カソードを1つに結合しインジケータのプラスコードに接続して下さい。
- ※整流ダイオードはアノードからカソードにのみ電流が流れて、その反対には流れない電子部品です。
- ・端に白や灰の線が入っている方がカソードで、線の無い方がアノードです。
- ※整流ダイオードは、入手し易い[耐電圧50V、耐電流1A]や[耐電圧100V、耐電流1A]などでOKです。(インジケータが3.4Wの白熱電球の場合でも電流量は0.3A弱だけです)
- ※整流ダイオード無しで接続すると、左右のウインカーが同時に点灯してしまいます。
- ※弊社では整流ダイオードを取扱っておりません。電子部品販売店様にてご購入下さい。



～左右独立型ターンインジケータの点灯回路について～

- ・左右のウインカーにそれぞれ並列に配置されているインジケータは、左側と右側とが完全に分かれており、自由に白熱電球からLEDバルブへの交換出来ます。
- ・左用と右用の2つのインジケータのあるバイクに多い構造です。

ウインカー：全て白熱電球(ノーマル時)
インジケータ：全て白熱電球(ノーマル時)

